様式第3号(第7条)

緑化推進業務状況報告書（令和２年度分）

令和　３年　４月　１日

　　茨城県知事　　大井川　和彦　　殿

報告者　住所　茨城県水戸市三の丸１－１－１

氏　名　茨城県化学工業株式会社茨城工場

工場長　水戸　三郎

日本標準産業分類の細分類番号を記載してください。

　　　茨城県地球環境保全行動条例第33条第1項の規定により，次のとおり報告します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※整理番号 | 　 | 作成責任者 | 　環境課長　茨城　太郎 |
| 事業場の名称 | 茨城化学工業株式会社　茨城工場 | 業種 | 1892　プラスチック製容器製造業 |
| 事業場の所在地 | 310-0001茨城県水戸市三の丸1-1-1(電話)029-222-1111(FAX)029-222-2222 | 事業場の敷地面積 | 15,000㎡　Ａ |
| 資本金 | 70,000千円 | 事業場の従業員数 | 50人　　 |
| 事業場の主要製品(販売品等)及び年間出荷額(販売額等) | 　食品容器(カップ，ボトル，キャップ)　　　　　　　　　　1,000,000千円 |
| 事業場内の建築物の概要 | 建築物の棟数　３棟(RC造１，SRC造２)建築面積　　3,200㎡　　　　　延べ床面積　　5,200㎡ |
| 緑化特定事業場の該当要件 | １　条例第33条第1項第1号(敷地面積(Ａ)：　　　15,000㎡)２　条例第33条第1項第2号(知事が指定した事業場) |
| 建築物を建築し，又は増改築した日(既設，新設の別) | 平成　１０年　５月３１日　　(既設・新築) | 用途地域等 | 工業専用地域 |
| 緑化の推進に関する計画の策定状況及びその概要 | 　「緑化推進プラン」(R2改定)　　計画期間R2～R6　(目標)R6までに30％の緑化推進，野生生物の生息区間確保 |
| 緑化の推進に関する管理体制の整備等の状況 | 　環境管理委員長―緑化部会長―緑化担当部門(緑化に関すること) |
| 緑地面積 | 事業場内緑地　　　3,300 ㎡(Ｂ)(内訳)　屋外　　　3,300 ㎡　　　　屋上　　　　　　㎡　　　　壁面　　　　　　㎡　　　　屋内　　　　　　㎡団地等の相当共通緑地　　㎡(Ｃ) | 緑化の方法 | 接道部延長　　　　224 m(Ｄ)接道部緑化延長　　202 m(Ｅ)接道部緑化率(Ｅ／Ｄ×100)　　90.18 ％　 |
| 植栽樹種等　低木；ツツジ，ウメモドキ　高木；マテバシイ，シラカシ，クロガ　　　　ネモチ，モチノキ，ヒサカキ　その他；芝 |
| 緑化面積比率((Ｂ＋Ｃ)／Ａ×100)　22.00％ |
| 緑地に当たって野生生物の生息環境に配慮した事項 | 　植栽にあたって，果実のなる樹種を多く使用した。　鳥が集まるような水辺を緑地内に整備した。 |
| 緑化に関し講じた措置 | 　「緑化推進プラン」に基づき，令和○○年度実施計画通り，500m2の緑地を整備した。 |

備考　1　「※整理番号」の欄は，記入しないこと。

　　　2　「緑化特定事業場の該当要件」の欄は，該当する番号を○で囲み，1に該当する場合は，前年度の3月31日現在の敷地面積を記入すること。

　　　3　「緑化の推進に関する計画の策定状況及びその概要」の欄には，計画策定の有無，計画の名称，計画の期間，計画の目標，主な措置等を記入すること。また，当該計画等を別添資料として添付すること。

　　　4　「緑化の推進に関する管理体制の整備等の状況」の欄には，事業場の緑化を推進するための管理組織の名称，業務分担等について記入すること。

　　　5　「緑地面積」の欄には，樹林，樹木，草地，草花，水辺地等の合計計画を記入すること。また，屋外，屋上，壁面，屋内の緑地区分ごとの内訳を記入すること。

　　　　　なお，「団地等の相当共通緑地」には，工業団地等において共通の緑地として整備されている緑地に含まれる当該事業場見合いの緑地面積｛共通緑地面積×(当該事業場の敷地面積／団地等に属する全事業場の敷地面積の合計)｝を記入すること。